

## 【24 期生】

### 理学療法士目指し、初の実習を乗り越えたい

#### 関東地方の国立大学2年生になる女子学生

あっという間に1年がたってしまいました。初めての寄宿舍生活で慣れないこともたくさんありましたが、先輩方のおかげでなんとか生活に慣れることができました。しかしながら、学業と生活の両立が難しいと感じた時もありました。やはり、今までは、実家でほとんどのことを自分でやらずに来てしまったので、毎日が忙しく感じるようになりました。こういったことから、何事も完璧主義にならずに取り組もうと思うようになりました。

大学での学習面について、後期の授業は前期の授業よりも難しくなり、専門科目も増えました。そのため、力を入れるべき科目とそうでない科目とを分け、負担のないように、学習することを心がけていました。テスト期間になると、各科目でレポートや課題が多く出され、専門科目との両立に苦労しました。しかし、出された課題やレポートをなるべく早くに終わらせ、専門科目の勉強に重点を置くことができました。試験は無事に突破し、進級することができるようになり、安心しています。

今年からは、夏季休業中と春季休業中に一週間の実習があります。初めての实習で少し心配なところがありますが、乗り越えていきたいと思っています。また実習に伴い、理学療法士を目指すための学修が本格的に始まります。生活との両立はもちろんです、気を引き締めて努力していきたいです。

私は、バンドサークルに所属しています。コロナ禍で学内の課外活動室での活動が制限されてしまいました。そのため、バンドを組んで演奏できる機会が全くないまま1年が過ぎてしまい、非常に残念です。しかしながら、コロナの感染状況が徐々に緩和され、現在は小規模な活動ができるようになり、嬉しく思っています。

最後に、将来、理学療法士になるために今からできることをコツコツと行っていきたいと思っています。患者さんが笑顔になって貰えるような理学療法士になりたいです。

### 自動車教習所実習で頭がパンク 早く免許取りドライブしたい

#### 九州の国立大学2年生になる女子学生

大学に入学し、1年が経過しました。後期の授業は、前期の授業に比べ、専門的な知識を学ぶことができる授業が増え、とても興味深いものが多かったで

す。自然地理学概説という授業では、プレートテクトニクス理論や、火山造山帯運動など、地球内外部の構造や運動について、詳しく学ぶことができました。また、地誌学概説という授業では、地形や気候条件などの地理的な要因と私たちの生活との関係性について、学ぶことができました。元々、地理の授業に対し、苦手意識を持っていましたが、これらの授業を通し、地理に対し、興味生まれ、学びたいことの幅が広がりました。2年次以降の授業がより楽しみになりました。

春休みに入り、アルバイトに励み、趣味に没頭できる時間が増え、とても有意義な生活を送ることができています。一人暮らしを始めてから、はじめての長期休みということもあり、生活習慣がひどく崩れたこともありましたが、しかし、現在は、規則正しい生活を送ることができています。料理のレパートリーも少しずつ増え、「今日はなにを作ろう」と考えることがとても楽しいです。

また、自動車学校に通い始め、車を運転することの大変さを理解することができました。ハンドル操作や、ブレーキ操作などを同時進行で行わないといけず、また、周囲への配慮もしなければならぬため、毎回の実車教習では、頭がパンクしそうになっています。しかし、上手く運転できると、とても楽しく、免許を取って、友達とドライブに行くことがとても楽しみです。もう少しで仮免試験もあるため、学科の勉強も頑張っていきたいです。

アルバイトや趣味の時間、自動車学校などで、充実した春休みを送ることができました。しかし、旅行など大学生らしいことがなにもできなかったのも、次の長期休みには、友達と旅行に行きたいと思います。自分の学びたいことを学び、夢を叶えるために、これからも頑張っていきたいと思います。

## 苦手だったレポート作成やプレゼンにも慣れて自信に

### 九州の私立大学2年生になる女子学生

入学してから1年が経ちました。大学生活にも慣れてきて大学で出来た友達と一緒に課題に取り組んだり、授業を受けたりして良い学生生活を送ることができています。1年時の講義では、私があまり得意ではないレポート作成やプレゼンテーションをすることが多く始めは慣れませんでした。何度も練習や本番を回数が増えていくうちに少しずつ慣れることができ自分の力を発揮できるようになりました。そして、春学期はコロナウイルスの影響で定期テストはすべてレポート課題になっていましたが秋学期から対面授業をしている教科は定期テストが実施されました。大学に入学して初めての定期試験だったので、どのような感じなのか全く分からず少し不安でしたがテストを受け無事全教科単位を取ることができました。私が特に力を入れていたリスニングとリーディ

ングは評価Sを取ることができとても嬉しかった半面、英語4技能のスピーキングとライティングではSが取れなかったので今年はSが取れるように頑張ります。

所属している英米学科ではTOEICを受けなければならなかったのですが、初めてTOEICを受けました。TOEIC受験前には、単語帳や問題集を解いてTOEIC対策を頑張りました。結果はまだ満足いくような点数ではなくまだまだ頑張らないといけないと感じました。

アルバイトは去年の8月から始めたのを今も続けています。アルバイトを始めてから約半年がたちました。人生初のアルバイトだったので初めは緊張しましたが今はバイト先の雰囲気も良く居心地よく仕事ができています。アルバイトをしていく中で、お客さんへの対応の仕方や社会に出ていくために必要なスキルを学ぶことができ、単にお金を稼ぐだけではなく、学校の授業では学べない今後社会に出ていく時に大切なことも一緒に学べるのでとても勉強になっています。4月からは大学もアルバイトも両立出来るように周りに流されず、しっかりと自分を持って生活していこうと思います。

## 面白そうな科目を選択し高評価 ゴミ拾いイベントにも

### 都内の私立大学2年生になる女子学生

昨年度の大学生活では、奨学金により、勉学に励んだり大学側が主催しているボランティア活動などに参加したりするなど有意義な1年間を過ごすことができました。勉学面ではGPAを意識しながら授業に取り組みつつ、分野にとらわれないよう幅広く選択することを心がけました。例えば環境系・メディア系・地域系の必修科目に加えて、教育の歴史を女性の観点から読み解く科目や、心理学入門、日本の農業の現状について学ぶなど、自分が面白そうだなと感じたものを選択しました。大学の授業に関わらず、社会に出てからも自分の主張を持つことを求められていますが、そのためには自分の軸となるものを早い段階で確立させることが大切であると考えています。昨年度はこの考えを頭に置きながら、授業を受け、自分の考えを持ったり、読書をしたりしました。そして嬉しいことに、昨年度の前期の成績では高い評価を受けることができました。これからも学びを深めていくことはもちろんのこと、良い成績を維持できるように取り組んでいきたいと思っています。

次にボランティア活動についてです。私が参加したボランティア活動は、昨年度9月25日に行われた「スポGOMI」と呼ばれるボランティア活動です。「スポGOMI」とは、予め定められたエリアで、制限時間内にチームワークでゴミを拾い、ゴミの量と質でポイントを競い合うスポーツのことを指します。大学から渋谷

駅方面に向かって決められた競技エリア内でゴミを拾い、制限時間内に戻ってくるというのですが、2分間の作戦会議では各チーム「どんなところにゴミが落ちているか？」などと意見を出し合いながら、自分たちの巡るルートを決定しました。学生・生徒・教職員・一般参加者合わせて22チーム52名が参加しており、総重量55.5kgのゴミが集まりました。私は大学の周りはゴミがあまり落ちていないと思っていましたが、よく見てみると想像以上にゴミが落ちている現状がありました。このことを踏まえて、改めて日本のゴミ問題についてどういった対策をしていけば良いのか、個人では何ができるのかを考えるきっかけになりました。来年も開催することがあったらぜひ参加したいと考えています。

## 2回目 TOEIC で目標達成 海外留学にも関心

### 関西の私立大学2年生になった女子学生

大学に入学して早や1年が経ちました。コロナウイルスが流行し始めた当初の先輩方はオンライン授業となっていたため、授業のことを心配していましたが、幸運なことに私の学年は授業の大半を対面授業で受けることが出来ました。

入学して間もない頃は大学の授業に関して漠然とした不安がありました。それに加え、春学期の授業の履修登録で失敗し、授業をあまり履修できずかなり落ち込みました。それでもその時自分が出来ることを精一杯やろうと前向きに考えて勉学に励みました。TOEICのIPテストを8月に受験しました。自分の思った以上にスコアが悪かったものの、マイナスに考えるのではなくここからさらにスコアを上げるためにはどうするのかなど、プラスに考えることを意識していました。そして、1月に受験した2回目のTOEICのIPテストでは自分の目標としていたスコアを達成することが出来ました。自分のモチベーションを保つためには何か明確な目標を立てることが重要だと感じています。

今は、留学を主に考え始めようとしています。留学期間中の留学先での単位取得についてとても悩ましく、不安が大きいです。しかし、大学生の間でしかできない経験かもしれない、留学の経験から何か将来への希望が得られるかもしれないというチャンスでもあるということも視野に入れて、慎重に決断していきたいと思います。

私生活の面では、当団体とは別の奨学金を給付していただいている団体での活動に力を注いでいます。2月に奨学生をつどいがあり、そこで多くのことを学び、もっと社会や人のために貢献したいと強い意志が芽生えました。街頭募金や奨学金があることで多くの子供を救えるということを知ってもらうための周知活動など様々な活動を行っています。大学2回生の期間、もちろん勉学に

励むことも重要ですが、何か人のために行う活動なども積極的に行いたいと考えています。

## 初めて学んだ天文学や地質学 なぜ？考えながら取り組む

### 首都圏の国立大学2年生になった女子学生

入学して1年が経ち、私は1年前の自分よりも多くのことを学ぶことができました。

まず、大学の勉強で学んだことについてお話します。後期では前期にはなかった理科の専門科目の講義が始まりました。中学、高校で学んでいた内容よりもより専門的になり、難しいと思うことが多くなりました。特に、天文学や地質学の分野は高校生で勉強していなかったのが初めて学ぶことが多く、天文学で使われる単位の考え方や観察した結果から「どうしてそうなるのか」を考察したりすることが大変でした。しかし、勉強が難しくなった分、自分のその学問に対する「なぜだろう」という疑問を解決できる機会も増え、興味を持って勉強に取り組むことができました。また、理科の勉強以外にも現在の教育が抱えている課題や自分が今後接する年代の子どもたちの心理など教育者として必要な知識を身につけることができました。どの内容も今までの学生生活では知ることができなかつた内容だったので、非常に新鮮でした。

勉強以外のことでも様々なことを学びました。私が1番大学生活の勉強以外で難しいと感じたのは、時間の使い方です。一人暮らしが始まり、勉強やアルバイト、サークルの時間を自分で考えて調整するようになりました。1年生では勉強とアルバイトとサークルそれぞれを両立することができず、体調を崩したり、試験で思うような点数が取れなかったりしたので、2年生では気をつけたいと思います。

最後に、私は2年生の目標として、教師にとって必要な専門性を身につけていきたいです。2年生からは理科の実験の授業が始まり、毎時間のレポート提出や終わる時間が未定の実験など大変なことが多くあります。しかし、教科書を読んだり講義を受けたりするだけでは得られないような知識を実験によって身につけることができると思うのです。実験の授業を通してより理科という科目が扱っている現象に対しての理解を深め、将来自分が教壇に立つときに自信を持って生徒たちに教えられるようにしたいです。また、理科の専門性だけではなく、教育学や教育心理学にも目を向け、授業外のところでも教師に必要な教養を身につけていきたいです。

## 美容の学生技術大会で腕を磨き、さらに全国大会へ

### 東海美容専門学校の2年生になる男子学生

美容専門学校2年生になります。1年生ではサロンに出るから必要になる基礎の技術から国家試験で必要になる技術までたくさんを学んできました。他にもメイクやアイブロウ、パーソナルカラーなどの検定を3級・2級と取得してきました。1年が終わる年間の成績としては学年で5番目と良い成果が残せました。

1年の5月頃から始めたサロンでのアルバイトでは初めは掃除や洗濯と言った雑用から始まりました。徐々にカラーやパーマのヘルプ、シャンプー等を任せてもらえるようになり、今では戦力としてサロンに立たせてもらっています。

2年に上がると1年のとき以上に忙しくなると言われています。今までやってきた技術の向上、また教科数も増え、休みの日にアルバイトをして大変ではありますが、1年のとき以上に組み込んでいきたいと思っています。また、私は夏に行われる学生技術大会に出場するための学校内選考会を勝ち取り出場することが決まっています。その大会で技術を上げ、全国大会を目指して頑張りたいと思います。そして、私が美容専門学校に入学した1番の理由である美容師国家資格取得は2月上旬に実技試験。3月上旬に筆記試験があります。この資格がなければ美容師としてサロンでの仕事ができないので1年で積み上げてきたもの崩さず、2年でも積み上げていきたいと思っています。

私は美容専門学校を卒業した後、現段階では東京での就職を考えています。東京での美容師としての就職は厳しいといろいろな方から言われます。私もそう思っていますし、簡単ではないと思っています。ですが挑戦すること事が自分にとっての良い経験が出来るのではないかと思います不安ではありますが挑戦してみようと思っています。

## こども園で初めての實習 多くの発見や喜び

### 東北の私立短期大学2年生になった女子学生

昨年度の1月には定期テストがあり、2月には5日間の教育実習がありました。定期テストでは筆記試験よりもレポート試験が多く、授業で学んだことから自分の考えをまとめて自分なりに表現することが出来ました。授業は実習に向けた実践的な時間が増えました。指導案を作成し、実際に生徒に子供役になってもらい、保育者の指導方法や配慮を学んだり、子どもの発達段階や、保育する時に気をつけることを学ぶために動画視聴をしたりしました。

2月の教育実習は、認定こども園で実習を行いました。初めての實習だったのでとても緊張しました。しかし、これまでの経験や学んだことを意識して子ども

たちに関わることができました。何気ない生活の中にも子どもたちにとっては新鮮で、多くの発見や喜びもあり、一瞬一瞬がとても大切なものだということがわかりました。キラキラした笑顔で話しかけてくれたり、短期間ではありましたが私の名前を覚えてくれ、一緒に遊んだり、お話したり、製作活動などができてとても楽しかったです。そして、実習の中では多くの反省点や改善点も見つけることができました。反省点としっかり向き合い、次の実習で気をつけたいと思いました。

次は5月下旬の施設実習で場所は障害発達児童センターです。6月下旬には認定こども園で実習が行われる予定です。障がい者系の施設は初めて行くのでイメージがつかみにくいですが、一人ひとりにあった支援や配慮が必要になるので、職員の方と連携をとりながら頑張りたいです。

今年度からはコロナの制限が緩和されたためオンデマンド授業も少なくなり、昨年度と比べて対面授業が増えました。学校に行ける機会が増え、友達とも会えるのでとても楽しいです。生活面では現在、自動車免許取得のために自動車学校に通っています。実習などがあり、スムーズに教習を受けることができそうですが、6月に卒業できるよう目標をたて頑張っています。